

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年4月10日(2014.4.10)

【公開番号】特開2013-198780(P2013-198780A)

【公開日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【年通号数】公開・登録公報2013-054

【出願番号】特願2013-140990(P2013-140990)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月24日(2014.2.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の識別情報の可変表示を開始させた後に表示結果を導出表示する可変表示手段を備え、該可変表示手段に導出表示された識別情報の表示結果が特定表示結果となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

前記特定表示結果とするか否かを、前記識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果に基づいて、予告演出において 1 段階から複数段階までのいずれの演出を実行するかを決定する予告演出決定手段と、

前記予告演出における演出が実行される演出領域を表示する演出領域表示手段と、

前記予告演出決定手段により決定された演出を前記演出領域において実行する予告演出実行手段と、

前記演出領域表示手段により表示される前記演出領域の表示態様を複数種類のいずれかから決定する演出領域態様決定手段と、

を備え、

前記演出領域態様決定手段は、前記予告演出決定手段により決定される演出が所定段階の演出である場合は、当該所定段階と異なる演出である場合に比べて異なる割合で前記演出領域の表示態様の種類を決定する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

予告演出の演出効果の向上が望まれる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明は、上記実情に鑑みなされたものであり、演出効果を向上させることを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、複数種類の識別情報（例えば飾り図柄など）の可変表示を開始させた後に表示結果を導出表示する可変表示手段（例えば画像表示装置 5 など）を備え、該可変表示手段に導出表示された識別情報の表示結果が特定表示結果（例えば大当り組合せの確定飾り図柄など）となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば大当り遊技状態など）に制御する遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、前記特定表示結果とするか否かを、前記識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段（例えば CPU 103 がステップ S 2 4 0、S 2 4 1 の処理を実行する部分など）と、前記事前決定手段の決定結果に基づいて、予告演出において 1 段階から複数段階までのいずれの演出を実行するかを決定する予告演出決定手段（例えば演出制御用 CPU 120 がステップ S 7 0 1 ~ S 7 0 7 の処理を実行する部分など）と、前記予告演出における演出が実行される演出領域を表示する演出領域表示手段（例えば演出制御用 CPU 120 がステップ S 1 7 2 の処理を実行する部分など）と、前記予告演出決定手段により決定された演出を前記演出領域において実行する予告演出実行手段（例えば演出制御用 CPU 120 がステップ S 1 7 2 の処理を実行する部分など）と、前記演出領域表示手段により表示される前記演出領域の表示態様を複数種類のいずれかから決定する演出領域態様決定手段（例えば演出制御用 CPU 120 がステップ S 8 2 1 ~ S 8 2 7 の処理を実行する部分など）と、を備え、前記演出領域態様決定手段は、前記予告演出決定手段により決定される演出が所定段階の演出である場合は、当該所定段階と異なる演出である場合に比べて異なる割合で前記演出領域の表示態様の種類を決定する（例えば演出制御用 CPU 120 がステップ S 8 2 3 の処理にて、表示系予告パターンに応じて異なる決定値が割り振られた枠表示系パターン決定テーブル 201 A、201 B を用いて枠表示パターンを決定する部分など）。

このような構成によれば、ステップアップ予告演出の演出効果が向上し、ステップアップ予告演出に対して遊技者に興味を持たせることができる。